いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地電話三八一番
編輯兼發行人　千輝克己
兼印刷人　日刊　但月曜日を除く
定價一ヶ月十円　一部五十錢

技術指導農場設置
總工費十五萬圓で植田町へ

郡では工費十五萬円を投じて植田町に技術指導農場を設置することに決定、各方面と接衝を進めている、工費十五萬円のうち六萬五千円は國庫補助で殘る八萬五千余円は郡下町村に呼びかけて寄附を募るが、大たい七月下旬までに完成を見さすべく資材獲得にも大童となつている、同農場は水田三町歩のほか畑五畝その他樹園もつくつて農産郡いはき建設を目ざすもので各方面から大きな期待をかけられている、なお郡下の農場はこれで澤渡を加へて二ヶ所となるわけ

百町歩のひらきは
麥とジヤガイモの基礎調査

郡下町村の麥、ジヤガイモの基礎調査にもとづく班長會議は十八日午後一時から平市食糧營團樓上に開催、同調査にもとづく作付反別と反收豫想數量を檢討したが、原案は地方事務所で練ることゝして一旦散會、二十三日再び班長會議を開いて具體策を構じ町村未端割當の資料作成をいそぐこととした、調査班の資料によると麥の作付面積は大麥千七百町歩、小麥六百町歩、計二千三百町歩で地方事務所の調査による面積二千四百町歩とくらべて百町歩のひらきがあり、馬鈴署の反收僅か四十貫と云う馬鹿じみた報告をしている惡農もある

ホーク氏來平
煉瓦工場等視察

けい砂山視察の連合軍天然資源部調査官ホーク氏一行は十八日夕ジープで來平、市内甲陽館に一泊の上、十九日赤井村の品川白煉瓦工場耐火粘土山ならびに天然けい砂山を視察した、一行は湯本町に一泊二十日歸京の豫定

海運局舍の敷地決定す

海運局小名濱出張所官舍及事務所敷地は町の委員の手によつて物色中のところ官舍敷地として富ヶ浦公園上り口の海に面した高燥地點の現港灣修築事務所長官舍と並んで二棟建設するに決定した

農業會支部機構改革
三課制度として

農業會石城支部では機構改革にともない從來の業務、生産兩課を總務、事業、生産の三課としたが、十九日部内の人事異動を行つた

△總務課（課長岡山勇）農政、厚生、庶務、金融△事業課課長（五[illegible]重二）購買、販賣、農[illegible]業△生産課課長（村井ただし）農産、養蠶、畜産、農業保險

先卒が側社會
團体協約を締結
同時に經營協議會も設置

駒木根ちゆう敬氏を社長とする新星藥品工業株式會社では增産は從業員組合と會社側の完全なる勞資協調に俟たねばならないとあつて會社側が卒先從組と團體協約を締結するとともに會社經營協議會も設置、經濟的、社會的、及び文化的の向上をはかり完全に勞働條件を改善する一面生産の增強に邁進しこん後給與賃金、就業時間の改善、人事等の諸問題は一切協議會にかけて會社運營の円滑を期することに決定、期待されている

郡町村會の結成協議
二十五日に市で

町村自治運營の萬金を期する郡町村會結成協議會は二十五日午後一時から平市公會堂日本間に總會を兼ねて開かれることになつた、當日各部門の顔ぶれをはじめ種々事業を決定する

運轉手合格者

十七日發表の縣自動車運轉手免許試驗合格者中平署關係は左の通り

◆普通　花塚博、菊地廣巳、松本一、永山二二、みな川恒雄、中山辰雄

◆小型　小林勝次、志賀博

米を拔く惡轉轍手

泉驛轉轍手沼田榮（二二）は宿直を利用、正月來停車中の貨車から政府管理米を五俵拔取り、小名濱や植田方面で賣却、小遣錢稼していたこと發覺、十八日植田署に御用

急讓
日本タイプ　一台
東邦タイプ　一台
完備品格安
平市田町五番地
平土地住宅會社
TL・202・911番

割當よりおさきに
ジヤガイモ供出
既に百三十俵からに達す

田植をまへに二毛作の田いもが郡下の先陣を承つて割當より一足お先にボツボツ供出されている十六日磐崎村の十九俵を皮切りに十七日勿來町の十八俵、草野村の百俵に達したが、作柄はいづれも惡天候にわざわいされて豆粒が多く草野村の百俵は市内五町目第三配給所から市内の勞配加配に廻された、食檢の觀測によると田植を控へて各町村とも既に堀りはじまつておりこゝ數日天候が良ければどつと供出されるだらうとかたつておりこん月中に千五百俵、七月十五日頃までには二萬俵かくじつと太鼓判を押している

食營の話――平の遲配は五日ないし七日平均で操作にこんなんを來たしている、じやがいもがいくら來たとしてもやはり四、五日の遲配はまぬがれない

法政チームの前賣券發賣
いよいよきようから

藤田監督の卒いるほう政大學チームを招いて平クラブと常磐炭鑛が對戰する野球戰は既報の如くスポーツ連盟主催、本社後援で二十三日午後一時から磐中球場で開催するが、前賣券は十円で左記九ヶ所できようから發賣を開始した

◇田町スポーツ連盟◇紺屋町扇屋酒店◇二丁目山家運動具店◇三丁目玉ずし◇四丁目百澤商店◇五丁目金光堂時計店◇正月町大塚運動具店◇才槌小路田村運動具店◇長橋町ますや商店

カツオ又水揚げ
―けさ小名濱に明生丸が―

千葉縣野島崎沖を根據に出漁中の小名港所屬明生丸（小野傳吉氏所有）は十九日朝カツオ一萬二千尾六千貫を水揚げ相次ぐ大漁に濱は活氣を呈している、目廻りは五六百匁見當、いづれも縣内外に出荷

寺内支店長榮轉
後任は磐中出身
川角豐太郎氏に

常陽銀行平支店長寺内定藏氏はこんど本行參與に榮轉後任には茨城縣日立市支店から川角豐太郎氏が十九日着任した寺内氏は滿七ヶ年在勤、溫厚な人として信望厚く、その榮轉を惜しまれている、なお新支部長は磐中出身の手腕家である

いわき寸言

※麥とジヤガイモの新價格二倍からの引上げは大衆には痛い

※生産者も他物資と比較してはまだ辛いとこぼす

※一般物價の抑制が實現しない限り大衆の生活はなやましい※新ジヤガが出ても遲配の回復はまだまだとの食營の話辛いかな

※天候まだまた定まらずとはわびし切めて天氣だけでもよくあれ

※あすの市會で住宅計が決定市民は待望のもの先づ異議はなかるべし

社告

本社の新築社屋も一部壁を殘し竣工するに至つた爲、二十一日新社屋に移轉編輯及び營業等一切の業務を新社屋に於て取扱うことになりました

社用の御用は當分の間電話一七六番にお願い致します

いわき民報社

生活苦に喘ぐ要援護者

生活相談所の窓口からのぞく

惡性インフレの高波にもみにもまれて市内の要援護者の生活じよう況はあまりにも文字通りのみじめさそのものであるが以下は援護會平生活相談所の窓口からのぞく世相一斷面

主食費に追れる　ほとんどがその日暮しで

市役所内の同相談所を訪れた五月中の要援護者は二百六名にも達したが、これら要援護者の生活じよう況の概要は期待した値下げ運動もさつぱり効果さへなくむしろ食料品の如きは昂騰をつづけている現じようだ、主なる生活費は主食で費やしてしまい、また住宅難にも悩まされてその日その日を辛うじて送つていると云うものが多く大黒柱を戰地におくつて歸還を待ちわびる未復員家族の悩みもひとしお大きい

引揚者在外留守（未復員）家族　夫はまだ復員しない、その妻三十七才で十二才の長男と三人ぐらし、内職等で生活を維持していたが四月下旬からマラリヤ再發し殆んど隔日に高熱が出る醫療を續けて居るが働けないため收入が無くなり生活に困る様になつたから扶助してもらいたい

引揚者在外留守（未復員）家族　昨年十月滿洲を引揚げた家庭、應召者の父六十六才、母六十五才、妻四十才、長女十四才の四人家族、妻の和裁等による内職の收入だけでは一家四人の生活を到底維持して行けぬから扶助を受けたい、なお收入の多い家庭内職か定職でもよいから心配して貰いたい

一般生活困窮者　世帶主四人四十一才、妻三十九才、母七十二才、長女十三才、長男十二才、二男九才、二女六才、三女三才の八人家族、主人は西洋料理職で飲食店の賄をなしおるが一家八人の生活を支ふる丈けの收入がなく苦しい生活をつづけている有様故主婦は職場勤めに出ようとしても幼兒があるので不可能だから家庭内職を斡旋されたい

大幅な値上げ決定

新麥と馬鈴薯の新買上價格

新麥、新ジャガイモの改訂價格は十八日農林省、物價廳から發表されたが、新價格はいづれも二倍以上の値上げとなり石當り大麥は七百十四円七十錢、裸（小）麥は千五十二円十九錢となつた、また消費者價格は七月一日の新物價體系發表と同時に公表される豫定であるが、これまた現行價格に比して二倍以上の大幅値上げとなる模様であるが、出廻りかけているじやがいもだけはとりあへず六月中は十貫匁當り四十八円の現行價格で配給し（差額は國庫負擔）七月から新價格によることになる、こんどの新生産者價格は從來のように報奬金をふくまない一本建の價格であるため麥じやがいもが早期に供出されてもこれには特別報奬金はつけないが酒、煙草等の報奬物資は相當放出することになつている

生産者及び消費者の聲

麥とジャガイモの買上げ價格が大幅値上となつたが、以下街に拾つた生産者と消費者の聲一つ

生産者　大麥は石七百十四円六十四錢、小麥は千五十二円十九錢で昨年にくらべて二倍以上にあがつているがほかの物價はこれよりあがつている、またジャガ芋十貫とリンゴ八つと同じ値段ではこまる

消費者　五人家族だと月千円ぐらいは配給食糧代金となるわけだ、二千円の月收としてもこれではとてもやつてゆけない

品目	等級	新生産者價格	値上率
大麥一俵（五二、五キロ）	三等三四五円	（一五六円）	二、二倍
裸麥一俵（六〇キロ）	同	四五五円	（二〇四円）二、二三倍
小麥一俵（六〇キロ）	同	四五五円	（二〇四円）二、二三倍
じやが芋（十貫）	合格	八七円	（四八円）一、八一倍

半月で七石六升

＝平署のヤミ取締り成績

平署の一日から十五日まで半月間のヤミ收締り成績調べによると取締り件數五十件でうち惡質者として送局したものは十六名、此の對象物資は驚く勿れなんと白米が七石六升馬鈴薯二十四貫に達した

野菜難克服に　集荷班結成

市では農繁期に入つても市民に野菜難あらすなと二十日から鎖札付者をして集荷班を結成市内平窪方部にくり込んで集荷につとめさせる新鮮な野菜を市の直賣所を通じてお台所に贈らうと云うもの

委員をあげ　折衝

坑害對策中平窪

【既報】日曹赤井鑛業の坑害による市内中平窪富貴内一帶二十町歩の畑地鑛裂問題は二十日開かれる市會協議會に提案、對策委員十名を擧げて會社側に折衝することになり各方面注視の的となつているが一帶の農家五十余戸は飲料水にも悩まされ悲鳴を擧げている、被害地帶には二戸の簡易水道があるのみで不便を來たしており小川江筋から淨化して農家に引水する計畫も進められている

勞災保險事務講習

七月一日からの勞働者災害補償保險の實施に伴つて從來の健康保險の適用を受ける工場事業場の大部分は森林や土木建築の事業場とともに、これが強制適用を受けることになるので、縣の主催で二十七日は市公會堂で、二十八日は植田町小學校で夫々事務講習會を開き萬全を期することになつた

諸團體や結社届出

市庶務課では政黨、協會、其の他諸團體の届出並に文化經濟等の各種團體の調査を實施することになつたが、未届のもの勿論のこと届出濟みものも二十日までに必ず届出るよう要望している

各炭鑛別に安全委員會

炭鑛の安全週間は七月一日から實施と決定したが、萬全を期するため常磐炭田では二十日から十日間を準備期間として各鑛別に安全委員會も設けて當ることになつた、週間中は炭鑛の保安機構の確立、啓蒙宣傳爆發及び落磐防止等に特に當る計がくでいる

湯本支部も地區大會

海外殘留者家族の海外引揚磐城連盟湯本支部では二十一日午後一時から同町舊校舍にわが子、わが夫の歸國を待ちわびる家族の參集をもとめて海外殘留者家族湯本地區大會を開き、町民に呼びかけての同胞引揚促進運動の活動資金調達その他につき協議する

仲間の仕業か

植田の強盜事件

植田町の七人組強盜事件につき植田署では平署の應援をもとめ捜査に當つているが、被害者の根本秀松さんは以前賭博の容疑で取調べを受けたこともあり、前後のじよう況から見て賭博仲間連の仕業ではないかとみられ、大體目星もついた模様である

レコード樂器類及びその附屬品
樂譜。ヤマハハーモニカ。ギター。木琴
御不用のレコード多少に不拘お讓り下さい
新品。中古品を問いません
蓄音器迅速に修理致します
有名化粧品シロツプ文房具
サンスター煉齒磨代理店
平市四丁目　電268　山吉商店　織維製品配給所

ハサミ　カミソリ　バリカン　お研ぎします　どうぞ御用命を
直龍軒研物部　平市南町五〇

衣類、書畫、骨董、貴金屬
高價買入
平市南町　中央會館

生徒募集
平洋裁學院
本科　一〇〇名（一ケ年）
速成科　一〇〇名（六ケ月）
夜間科　一〇〇名
願書締切　七月五日
開校　七月十日
◉規則書進呈
東京文化服裝學院
主事　山崎里子
主任　小杉山初子
教師　中川信子
教師　若松サト子
市平紺屋町二一元商業組合跡